

1 目的

- (1) 自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。
- (2) 災害時における危険を認識し、状況に応じ自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
- (3) 被災時を想定した生活体験や防災教育プログラムを実施することにより、防災の知識を体験的に身につけさせるとともに、自助意識を身につけさせる。

2 日時

令和6年8月16日(金) 10:00~13:50
 (灯笼祭り清掃ボランティアの後)

3 参加者

- ・有志の生徒(最大で30名)
- ・有志の教職員及び保護者(P T Aにも呼びかける)

4 実施内容

防災対策の三要素「自助・共助・公助」のうち、令和6年度は、「自助」を柱に、防災講話、心肺蘇生実習、非常食体験を実施する。

5 実施概要

時間	内容	備考
10:00~10:30	○山鹿市防災危機管理監 ●講話「地域の自然災害」	場所3棟1階 多目的室
10:30~11:00	グループ協議 ●地震や災害が起きた時に予測される危険とそれを回避する方法	場所3棟1階 多目的室
11:15~12:00	○山鹿消防署 ●救命・応急手当・手軽な運搬法(A E D・止血・手当)	場所3棟1階 多目的室
12:15~13:20	○日本赤十字防災ボランティア 山鹿あいの会 ●非常食体験	1棟と体育館間の砂利

6 服装及び持参物

【服装】体育服または部活動のTシャツなど。(私服での参加は、控える)

【持参物】筆記用具、水筒、タオル、帽子、軍手